

陶磁器の里 有田を訪ねて —肥前 佐賀の旅(2/2)—

11/26/2017

北村社会福祉士事務所

代表 北村弘之

前回の有田の街巡りに続き、今回は旅先のスポットをご紹介します。

【柴田夫妻コレクション】

初日に訪問した佐賀県立九州陶磁館は有田駅から近い小高い丘にありました。陶磁器の歴史や全国各地の焼き物産地の紹介などがある立派なところでした。

また、今回は紅葉の時期と重なって庭園には見事な景色がありました。(写真下)

この中に、「柴田夫妻コレクション」という展示室がありました。

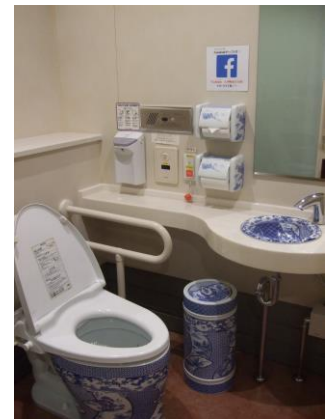
この名前は、陶磁器に興味のある人なら知っている有名な陶磁器のコレクターであり、調査や研究に勤しんだ東京の人です。

会場を訪れて初めて知ったのですが、1940年生まれの比較的若い人で1990年から10数年にわたり佐賀県に約10,000点の陶磁器を寄贈したとのことでした。

将来の陶磁器の発展を願って全てを寄贈したということですから驚きです。



借景



トイレはどこへいっても陶器製

【武雄温泉と御船山楽園】

有田の街は、宿泊するところは少なく、今回の宿は電車で15分の「武雄温泉」にしました。アルカリ性のお湯が沸き出しており、重要文化財となった「楼門」が我々を出迎えてくれました。楼門内にある風呂は朝6:30から営業しており、7時に行った際には多くの人と車で混雑していました。話を聞いたところ、観光客というよりは地元の常連の方が入浴に来ているとのことでした。

また、近くに「御船山楽園」という広大な庭園があり、春には桜やつつじが見事なようで我々が訪れた際には、もみじや銀杏が見事で多くの観光客が足を運んでいました。

この庭園は、鍋島藩時代のもので、3年がかりで造営したものです。この場所では、飯塚市の定年後の男性と語り合うことができ、旅の楽しさを分かちあいました。



武雄温泉楼門



御船山楽園



楽園内のもみじ

以上